

2009年春闘スタート 連合8年ぶりにベア要求

連合は11月20日、中央執行委員会を開催し、2009年春闘において、01年春闘以来8年ぶりにベア要求することを決定しました。私たち労働者への労働分配率の低下と物価上昇による生活環境が厳しくなっている現状があるからです。

JR総連も19日、「単組・地協拡大代表者会議」を開催し、秋の闘いの成果を反映し、春闘へ繋げていくことを確認すると共に、JR春闘の基本構想を決定しました。連合方針に則り職場から闘いを構築し、ベア要求の獲得・労働時間の短縮・休日労働の改善など職場改善要求と合わせて、全ての労働組合の壁を越えた統一闘争を創りだし要求実現に向けて奮闘していくことを確認しました。

職場から統一闘争を構築しよう！

反彈圧・組織破壊攻撃粉碎！

連合8年ぶりベア要求

春闘方針、水準「1%半ば」

連合は二十日、中央執行委員会を開き、二〇〇九年春闘の闘争方針を決めた。賃上げについては、今春闘までの「賃金改善」という表現を改め、定期昇給分（賃金カーブ）を維持した上で、物価上昇分に見合うペースアップ（ベア）を要求する、とした。連合のベア要求復活は、〇一年春闘以来八年ぶり。

具体的なベア水準は、〇八年の消費者物価指数（生鮮食品を除く）の推移を参考に「一%半ば」とした。十二月二日に開く中央委員会でこの方針を正式決定する。

今回は、連合が久々にベア要求を復活させた

11月20日

東京新聞